

市政を問う!!

質問者

鈴木明子
柴田博
永井泰仁
古畑秀夫
丸山寿子
横沢英一
中村努
山口恵子
青柳充茂
宮田伸子

※本文は質問者自身の原稿によるものです

一般質問の要旨

塩尻の魅力を全国へ

◆ワイン振興事業について

問 (仮称)塩尻ワイン大学の目的と内容は。(永井)

答 将来、醸造用ぶどう栽培やワイナリーの起業を目指す人を対象に、定員は20名程度で、1年次ぶどう栽培、2年次ワイン醸造、3年次起業と経営、4年次インターン研修をテーマに、毎月1回、土・日曜日の2日間総合文化センター等で座学、市内果樹園で実習し、宿泊施設は塩嶺体験学習の家等を紹介する。講師陣はワインアドバイザー、大学講師、市内の栽培や醸造に精通している方を登用し、産学官連携体制で実施する。



毎月20日は「ワインの日」

◆中信四市の魅力発信

問 中京圏に向けて中信四市連携でブランド発信を行う新規事業の内容は。(丸山)

答 「日本アルプスフェス」として各市共通のワイン中心に特産物や観光情報を発信。11月に名古屋テレビ塔で開催し、各市を巡る周遊観光の提案等で誘客促進を図りたい。



改修工事が進む議場

地域経済の活性化

◆リフォーム助成について

問 住宅リフォーム助成制度が新年度も実施されることについては評価するが、制度の見直し内容や、予算額がなせ1千万円と減少しているのか。(柴田)

答 平成26年度は耐震補強枠

を設け、住宅の耐震化も同時に図っていきたい。予算規模については、経済対策として行ってきた事業であり、景気が上向いてきたことから本年度より少ない額とした。

◆道路整備について

問 広丘西通線の北部公園から駅前通線までの整備についての考えはどうか。(柴田)

答 26年度、北部公園西側の約300mの測量設計を行う。

◆広丘駅パークアンドライド
問 完成予定と車の収容台数は。(古畑)

答 年内の完成予定で収容台数は約70台を予定している。

◆がんばる商店街の支援を

問 北部の拠点整備では商店街の活性化が重要。地域の賑わいと魅力の発展をどのように図っていくのか。(山口)

答 広丘支所建て替えと連動



広丘駅前商店街の賑わいを創出